

<絵カード>



<文字カード>

ゆきだるま

おしょうがつ

くりすます
クリスマス

もちつき

◇指導のねらい

- ①言語性 LD 児との楽しい学習をする。
- ②もっている内言語を引き出す。
- ③新たな知識を獲得する。
- ④絵と文字とのマッチングを練習する。

◇基本の使い方

- ①指導者は「冬（ふゆ）」を告げる。
- ②学習者は、「冬」から思い出す単語を言う。
- ③指導者は、該当の絵カードを示す。
- ④指導者は、絵カードに該当する文字カードを示す。
- ⑤学習者は、指導者の発音を繰り返す。
絵カード、文字カードを数セット用意する。
- ⑥出そろったところで、神経衰弱のようにカード拾いをしてゲームをする。

◇指導の評価

- ①刺激語から、学習者が反応として示す語彙を認める。
- ②新たな言語を獲得する。絵カードを見て言語表現する。
- ③文字カードが読める。
- ④絵カードと文字カードが一致する。

教室で見せる対象児は、1年生レベルとしては獲得している言語が少ない。検査でも動作性100程度、言語性60程度の偏りの大きい言語性のLD児と見られた。

そこで、言語力の基礎づくりとして行った例である。一つの刺激語から連想することばを再生することや新たなことばを獲得するなどの過程から想像力、指導者とのコミュニケーション能力をも高めることができると思われる。

刺激語、枚数の工夫などできる。